

トレーラーハウス事業へ参入

カサシマ建設(本社・札幌)は、得意とする和風古民家住宅のノウハウを生かしてトレーラーハウス事業に参入する。製品名は「トレーラーハウス カムイ」。住宅事業と同じく道産木材をふんだんに使用しながら高気密・高断熱の快適性を確保した。本社近くの東区中沼町108の1F58にモデルハウス展示場をオープン。25、26日に初の見学会を開いた。

カサシマ建設

同社は、墨付けや切り込み、柱、梁など「構造を見せる家」にこだわっ

た家づくりが特徴。フロアリングや建具、家具なども道産木材で自社施工することで大工の技術が見えるこだわりの住宅を

オプションを活用してカスタマイズできる

提供している。

移動式サウナ「Pokke」や木製コンテナハウス「ニ・ポンチセ」などを展開する中、これまでのノウハウを発展させたオーダーメイド製品の「トレーラーハウス カムイ」の受注販売を開始した。

トレーラーハウスは外壁にトドマツ材、床にカラマツ無垢(むく)フロアリングと道産木材をふんだんに用いた。

屋根、壁、床に断熱材「ネオマフォーム」、複層

トレーラーハウス カムイのレギュラーサイズ



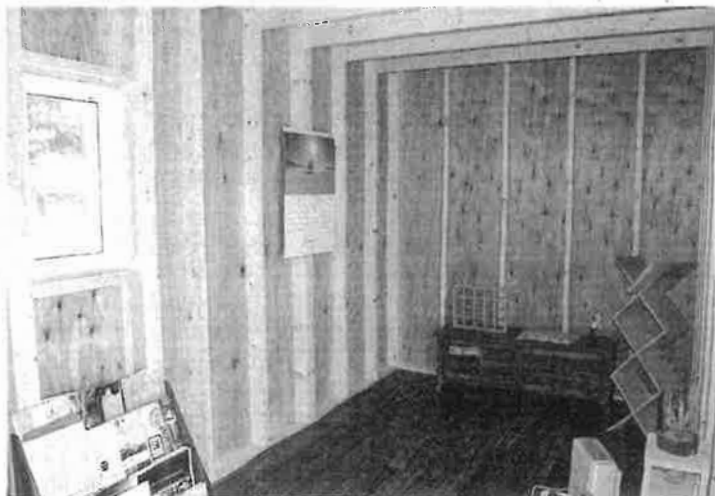
道産材をふんだんに活用

快適性、「見せる」構造実現

ガラスの断熱サッシ、パツシブ換気システム「グッドマン換気口」などを採用し、住宅と同じくオリティーを確保した。サイズは、全長3・5

サイズの断熱サッシ、パツシブ換気システム「グッドマン換気口」などを採用し、住宅と同じくオリティーを確保した。サイズは、全長3・5

の半分サイズと全長6.5mのレギュラーサイズがあり、どちらも幅は2・2m、高さは2・8m。自由設計に対応し、本体



時間感覚ゆがみ要因を特定

集中度と気力充実感

千葉大

千葉大は、「フロー体験」による主観的時間のゆがみが変動する要因を研究した。極度に集中するほど主観的時間のゆがみが大きくなると判明。また、状況をコントロールできるか、気力が充実しているかどうかによって時間の感じ方が変わると分かった。31日に日本感性工学学会が出版する国際誌で研究成果を公開する。

フローとは、目標達成に向け自らの技能を発揮し、没頭した時に生じる充実感などの心理状態。「ゾーンに入る」とも表現される。時間の感覚が極端に大きくゆがむ特徴が知られているが、発生要因や時間の圧縮・拡張といったゆがみの方向を決定する要素が分かっていなかった。

フローとは、目標達成に向け自らの技能を発揮し、没頭した時に生じる充実感などの心理状態。「ゾーンに入る」とも表現される。時間の感覚が極端に大きくゆがむ特徴が知られているが、発生要因や時間の圧縮・拡張といったゆがみの方向を決定する要素が分かっていなかった。

4月から一般発売

○…大東建託…○

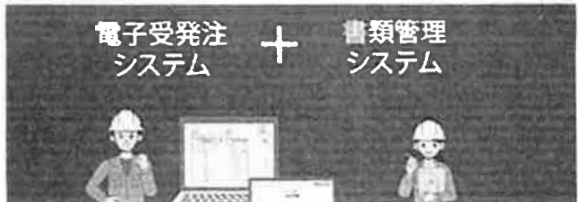
電子施工管理システム

大東建託は、自社開発の電子施工管理システム「TAKUMI Builders Connect」を4月から先行販売する。

ct(タクミビルダーズコネクト)を協力会社にて先行販売する。4月から

TAKUMI Builders Connect

電子受発注システム + 書類管理システム



省 有人機との連携が焦点

後、完全に無人となる現場は限られるとみられる。当面は見守り作業

対応 手袋

リーは、天然ゴムコートイングに加え、手のひら部分のパターンが履きやす

建設新聞